

令和2年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金  
～介護のしごと魅力発信等事業(子育てを終えた層向け)～

新プロジェクト本部  
介護事業プロジェクトチーム  
2020年9月7日

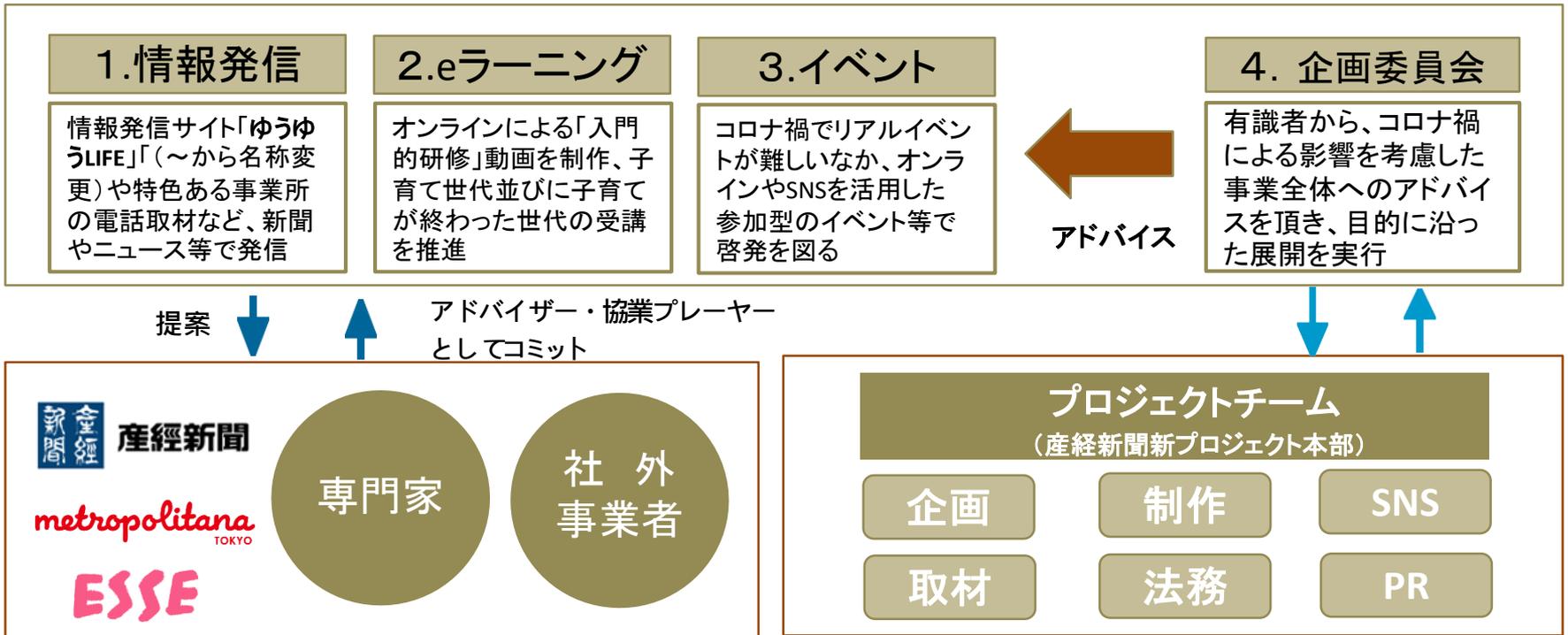
# 事業コンセプト I

## ■目的

- ・介護のしごとの魅力を伝え、一般の人々が福祉・介護に抱いているイメージを向上
- ・コロナ禍による影響を考慮して、オンラインによる「入門的研修」動画制作、受講支援を実施
- ・介護への無関心層、特に子育てが終わった層をターゲットに新聞社ならではの企画でアプローチ

## ■ターゲット

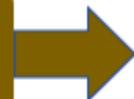
- ・30歳代～60歳代
- ・主に女性
- ・子育てを終えた層（子育て中のメンバーも入れる）



# 事業コンセプトⅡ

## ■ 過去2年間の知見と資産を活かして3年目へ

2年間の経験と実績を元に  
令和2年度は効率的に情報発信



介護施設での体験型  
親子イベント工夫開催

動画制作と自治体連携  
「入門的研修」

介護のしごとへの調査  
意識や行動変容

推進事業

メディアによる広告

メディアによる広告

介護のしごとPR  
イベント開催

介護のしごと情報  
Webサイト構築

新聞記事 長期連載  
Webニュース配信

介護のしごと情報  
Webサイト  
「ゆうゆうLife」  
※ターゲット層はスマホ  
●スマホ情報発信強化  
●LINE、インスタ連携

新聞取材・記事連携  
Webニュース配信

フル活用

新聞記事 長期連載  
Webニュース配信

**2018年度**

介護職の「イメージ刷新等  
による人材確保対策事業」

**2019年度**

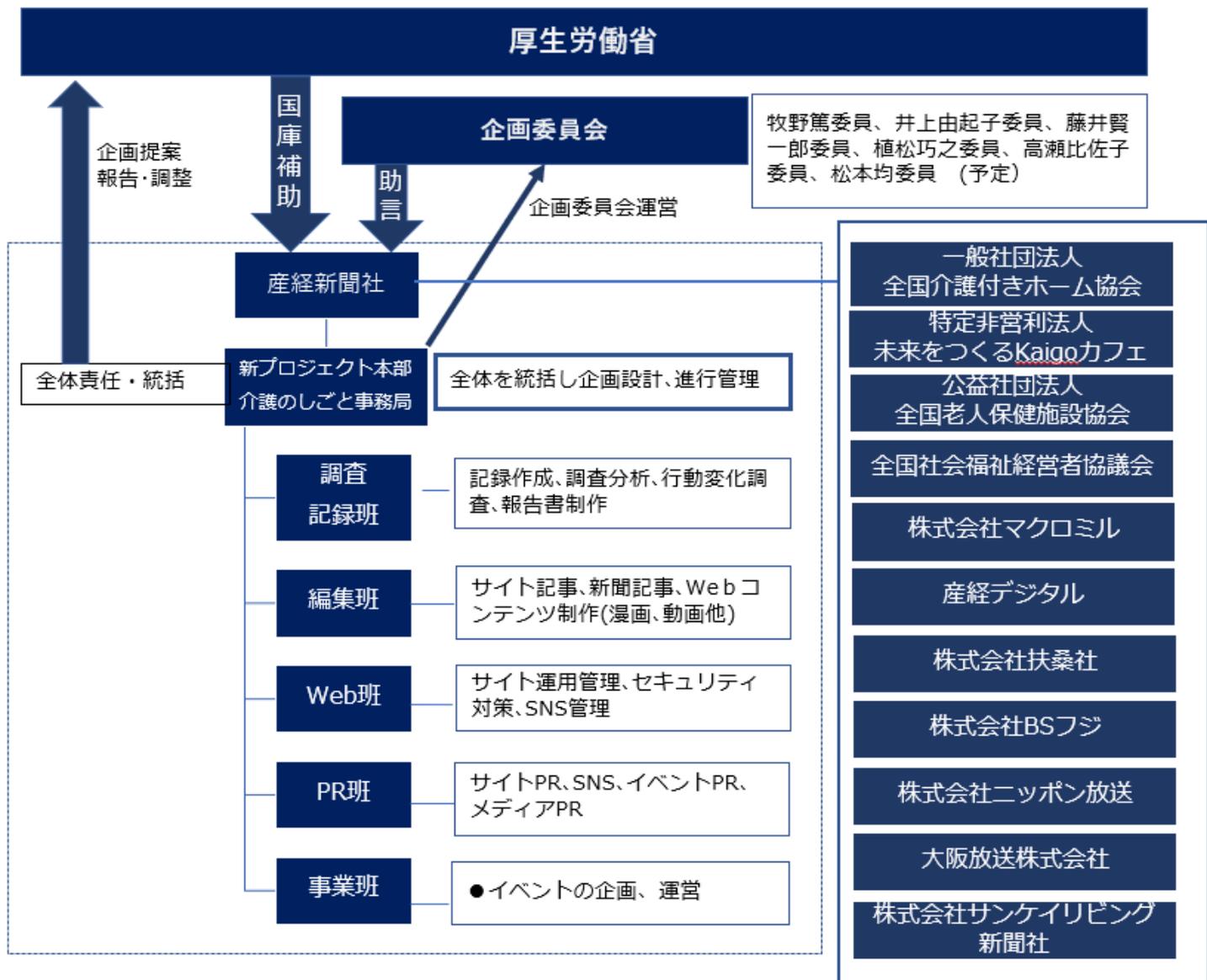
「介護のしごとと魅力発信等事業」

**2020年度**

「介護のしごとと魅力発信等事業」



# 組織体制



## 介護サイト改修内容（2020年7月）



2019年度

1. サイト  
名称変更

2. レイア  
ウト変更



2020年度

新ロゴ

# ゆうゆうLife

### ■変更点

#### 1. サイト名称の変更

- ①ドメイン名の変更  
→ゆうゆうLife（ドメインyouyulife.jp）
- ②サイト内の名称の変更

#### 2. レイアウト変更

- ③カテゴリの優先順（並び）変更
- ④コンテンツ一覧表示変更
  - 1)更新順からカテゴリ別へ
  - 2)表示件数変更（6→9件）

## 【伝えること】

1. 介護のやりがい(自立支援、看取り支援、人生を垣間見る)
2. 仕事の広がり(介護の周辺業務、予防や見守りなど地域共生)
3. 働きやすさ(無資格から専門職へ、年齢不問、職住接近、賃金)
4. 事業所の違い(事業所によって働き方も働きやすさも違う)

❖ 介護の周辺で働く(現地取材を模索)

コロナ下の「つながり支援」の紹介(ゆずの会、DAYS BLG!)

❖ 介護職インタビュー「忘れられない人」

❖ 認証評価制度マッピング＋事業所紹介

❖ 介護漫画

❖ 介護職の座談会



# オンライン動画制作

かながわ福祉サービス振興会と連携して、オンライン授業の動画事業を共同で実施する

## 実施例①：1日で実施する場合

- ✓ 介護に関する基礎講座として、介護に関する基礎知識（1.5時間）と介護の基本（1.5時間）のみを実施

## 実施例②：3日程度で実施する場合

- ✓ 1日7時間で研修を実施

日数	項目	時間
1日目	・介護に関する基礎知識	1.5時間
	・介護の基本	1.5時間
	・認知症の理解	4時間
2日目	・基本的な介護の方法	7時間
3日目	・基本的な介護の方法	3時間
	・障害の理解	2時間
	・介護における安全確保	2時間
合計		21時間

## 実施例③：6日程度で実施する場合

- ✓ 1日3～4時間で研修を実施

日数	項目	時間
1日目	・介護に関する基礎知識	1.5時間
	・介護の基本	1.5時間
2日目	・基本的な介護の方法	3時間
3日目	・基本的な介護の方法	3時間
4日目	・基本的な介護の方法	4時間
5日目	・認知症の理解	4時間
6日目	・障害の理解	2時間
	・介護における安全確保	2時間
合計		21時間

## 動画事業

1. 入門的研修のテキスト作成
2. 講師による講座実施
3. 動画制作・配信
4. 到達度試験の作成  
(オンラインで複数回実施)
5. 質問会の実施  
(月1回1時間程度)
6. スケジュールの共有
7. 業務委託契約書の作成



## ■動画による学習メニュー

入門的研修に準拠

(1講座30分換算で42回程度を想定)

1. 介護に関する基礎知識 3回
2. 介護の基本 3回
3. 基本的な介護の方法 20回
4. 認知症の理解 8回
5. 障害の理解 4回
6. 介護における安全確保 4回

## ■課題

1. 動画制作と運用 撮影・制作・編集
2. 視聴を担保する仕組みの構築
3. 質問会ほか双方向性(脱落防止)の検討



※自治体がオンライン動画を使用することを想定

## 1. e-ラーニング講座制作についての考え方

ターゲット：子育てを終えた世代「主に30歳～60歳代の女性」+「介護無関心層」

制作物：約30分番組×42本、テキスト、オンラインテスト、20分のPR動画

担当講師：介護教育の経験豊富で、特に映像化に適した人材を選定

制作方法：企画会議の実施、パイロット版を作成し方向性を協議する

制作場所：ハウスクエア横浜内スタジオ（予定）



## 2. オンライン授業コンテンツのスタイル

- ①共感を軸にカリキュラムを演出（「いずれは・・・（親）」と自分事化してイメージできるもの）
- ②受講継続するごとに、知的好奇心をくすぐる。
- ③「介護のしごと魅力発信」の流れに組み込む（ゆうゆうLifeとの連動）

### ◆講義のスタイル

- ・企画会議と台本作成で講義に一貫性をもたせる。
- ・ナビゲーター役としてターゲットと同世代のMCをメインに起用する。  
例）MC＝視聴者代表として、講義の最後に自身の変化、成長を振り返る時間をとる。
- ・これまでの講義動画とは一線を画す工夫をちりばめる。  
例）掛け合い講義、現場取材、10分単位での仕掛け、MCコメント、SE、BGM等
- ・「何をやるか」だけでなく、「どこで」「誰と」がイメージできるようにする。  
例）施設体験会や現場スタッフの「ゆうゆうLife」へのゲスト出演等



## ◆研修用テキスト

- ・講座の内容に沿った資料に解説を加えたダウンロード版テキストの作成。

## ◆受講テスト

- ・受講管理で自身の成長が確認できる。自分事化できるように工夫する。
- ・合格時に隠しページが表示される等、継続への楽しさを演出する。



## 3. LIVE 質問会(案)やコミュニティを設置

- ・脱落防止のためのオンラインサロンとして機能させる。

例) オンライン授業の演出により、受講者とMCの距離を縮める。

- ・内容

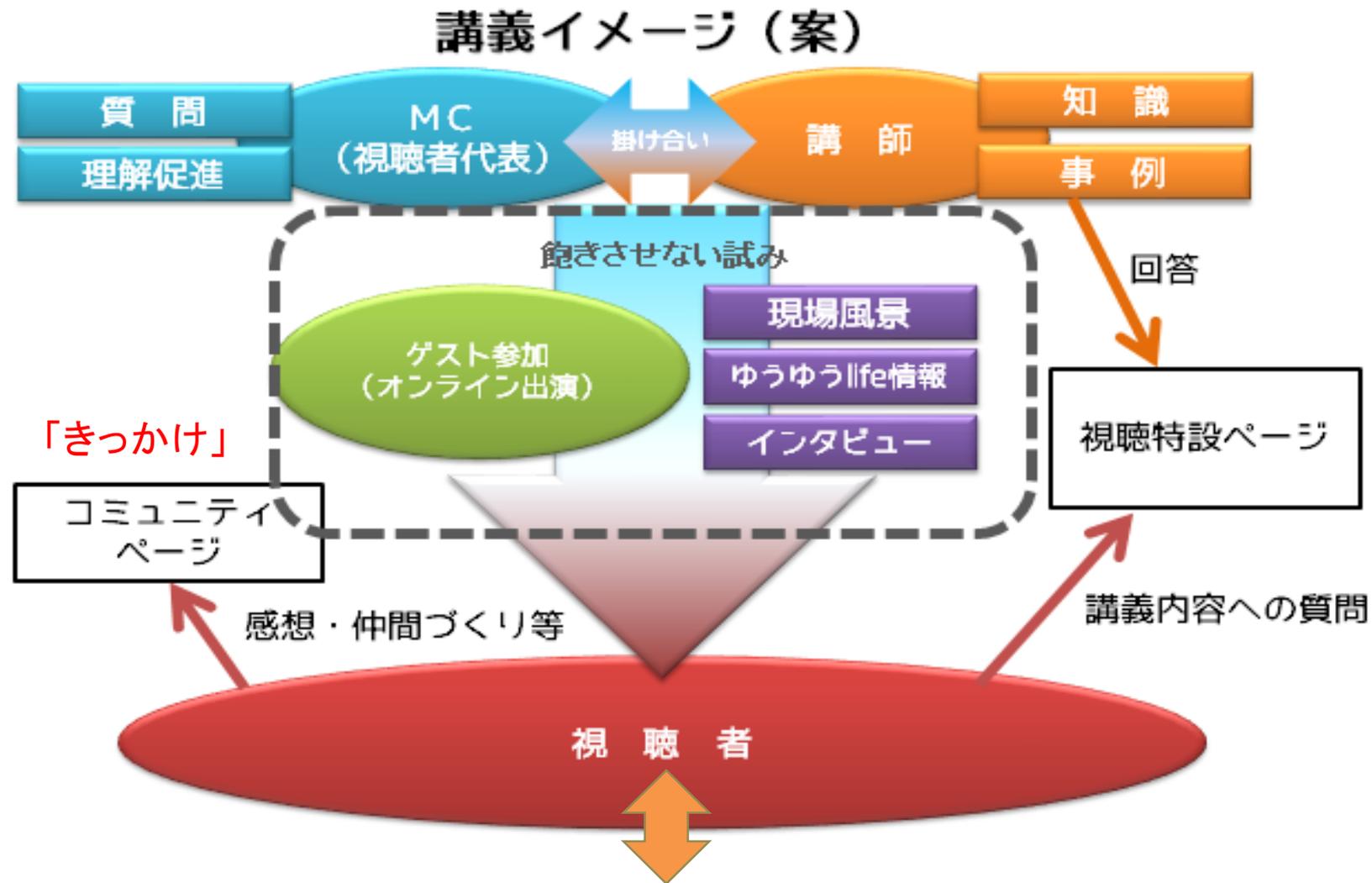
**A** : オンライン授業の質問を受け付けるサイトを作成しておき、分野の偏りが多ければ専門講師を呼び補講とする

**B** : MCの仕切りで進め、講師とのTV電話、視聴者とのメール、SNS等も使用しながら、学ぶことへのモチベーションを上げるコミュニケーション番組とする。

ゆうゆうLifeと連動を実施

※参加人数にもよるが、参加者同士のワークショップなどでコミュニティ構築も検討する





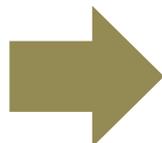
顔認証やテストなど受講生本人が視聴したことを証明するシステム導入

# イベント(全体概要)

■新型コロナウイルスの感染拡大により、各種介護施設での親子参加型イベントが実施が困難な状況であるため、**オンラインイベント**を中心とした事業へ変更を検討。

## コンセプト

- これまで介護や介護職に特別関心を持たなかったターゲット層へのリーチ
- 参加者がイベントを楽しみつつ、多様な「体験」を通じて、介護や介護職への関心を高めることのできる企画
- 参加者・出演者への新型コロナウイルスへの感染予防対策の徹底・オンラインの活用



## ①オンラインイベント

- 著名人と介護職の方々を迎えたウェビナー
- 親子参加によるオンラインワークショップ

## ②SNSを活用したユーザー参加イベント

- Twitter、Facebook、Instagram、LINE等本事業のアカウントへの投稿イベント
- グループ機能を使った限定イベント
- ファンコミュニティの活用

## ③リアルイベント



要検討

※イベントを通じて「介護のしごと」に興味を持つ、主に30歳から60代を増やすとともに、コミュニティ作りにつながる新たな取り組みを実施予定。

# イベント① オンラインイベント

## メリット

- 参加者・出演者が実際に接触することなく開催可能
- 感染拡大状況に左右されない
- オンラインならではのつながりにより、SNSやサイトを通じて、参加者に対して継続的な情報発信ができる



### 1. 介護経験のある著名人などを迎えたウェビナー

#### 【コンセプト】

- 著名人をメインゲストに、介護をテーマとしたトークセッションなどを実施
- 参加者からの質疑応答や意見、感想等を反映して進行し、双方向性を高める構成に
- 介護職の方にも登場いただき、介護のしごとの魅力やリアルについて、参加者が理解を深めるきっかけに
- アーカイブで事後でも視聴可能に

### 2. 親子参加型オンラインワークショップ

- 介護施設で使う防護服づくりなどを検討中
- 作業や実際に制作した成果物が介護施設で役立てられていることを通じて参加者に介護・介護施設、介護職に関心を持ってもらう

サイト・新聞・SNS等で  
再録・共有

## ウェビナー ①

### 黒木瞳さんと語る介護のおしごと(仮題)

- 10～11月予定／1日に2公演開催
- オンライン配信 (YouTube Live/Zoomウェビナー等)
- メインゲスト 黒木瞳さん(女優)
- メインMC 町亞聖さん(フリーアナウンサー)
- ゲスト 介護職の方々

▽コンセプト 黒木さんと一緒に介護と介護のおしごとを学ぶ

▽構成

介護職の方々が語る介護のおしごとのリアル

黒木さんと町さんによるトークセッション

視聴者(参加者)から黒木さんへのQ&A

クイズ・ゲーム

参加者アンケート 等



➡ これから介護に向きあうターゲット層に近いゲストと一緒に介護と介護職に触れる

# イベント① オンラインイベント案

## ウェビナー ②

### りんたろー。と介護職のホンネトーク(仮題)

- 12月～来年1月予定／1日に2公演開催
- オンライン配信 (YouTube Live/Zoomウェビナー等)
- メインゲスト りんたろー。さん(お笑いコンビEXIT)
- メインMC 町亞聖さん(フリーアナウンサー)
- ゲスト 介護職の方々

▽コンセプト 介護現場を知るプロによる実際の介護職のリアルトーク／やりがいや楽しさ、続けられる秘訣、お年寄りの魅力 など

▽構成

介護現場ってこんなところ・ぶっちゃけトーク

視聴者(参加者)からりんたろー。さんへのQ&A

クイズ・ゲーム

参加者アンケート 等

別途、インタビューを収録、11月のイベントで公開



➡ 介護職の経験者によるプロの視点や魅力の共有を図る

# オンラインイベントへの参加促進



介護のしごとに関する番組などに出演  
出演者自身の介護の仕事への関り等  
関係性のある芸能人を選んで、オンラ  
インイベントへの参加促進を図る



# イベント② SNSを使ったイベント案

## ③ SNSを活用したユーザー参加型イベント

- 双方向性を活かした参加型のイベントを企画
- 継続的なつながり（フォロー・フォロワー）の確保 → 関連イベント、コンテンツの発信に活かす



事業公式アカウント

事業公式アカウントのスクリーンショット。写真には「ザ・カイゴニア」のイベントの様子と、福祉用具（車椅子）が写っています。テキストには「～から caracara ケアするウェブマガジンさんがイベント...」とあり、日付は「2019年11月10日」です。下部には「ザ・カイゴニア ー大人気のレクリエーションツールで未来の介護を体験しよう！ー」のキャプションと「2019/11/17」の日付が記載されています。右側にはFacebook、Twitter、Instagram、LINEのアイコンが並んでいます。



公式サイト「ゆうゆうLife」  
新聞・他メディア

### 【基本的な役割】

- 各種イベント、コンテンツ情報の発信・告知
- 関連アカウント・フォロワーとのやり取り
- 公式サイトへの誘導

### 【SNSイベント】

- 介護にまつわるエピソード／介護職あるある／「介護って○○」エピソード／大喜利／静止画・動画などを募集
- 月替わりで「今月のほっこり賞」等のコンテストを開催
- 寄せられたエピソード、投稿はメディアコンテンツにも活用
- 一般アカウントと介護職の方のアカウントを区別して開催するなど、多様なイベントとする
- オンラインセミナーをFacebook、YouTubeと連携させて開催



# 介護のしごとをテーマにしたコミュニティを構築

## ファンコミュニティ構築

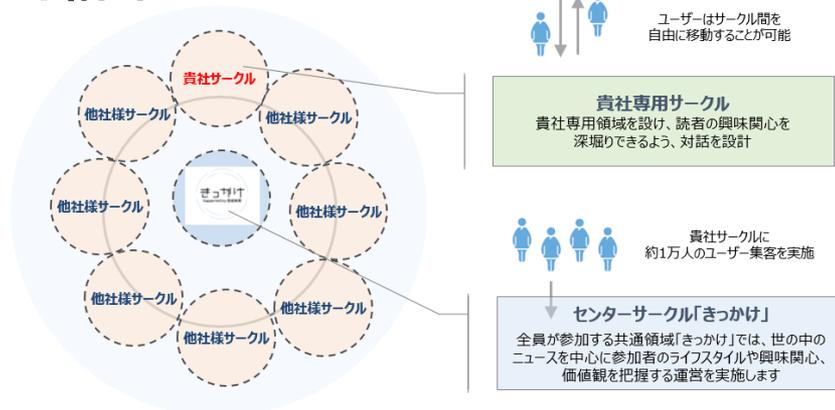
ちょっと世界がひろがるコミュニティ

# きっかけ

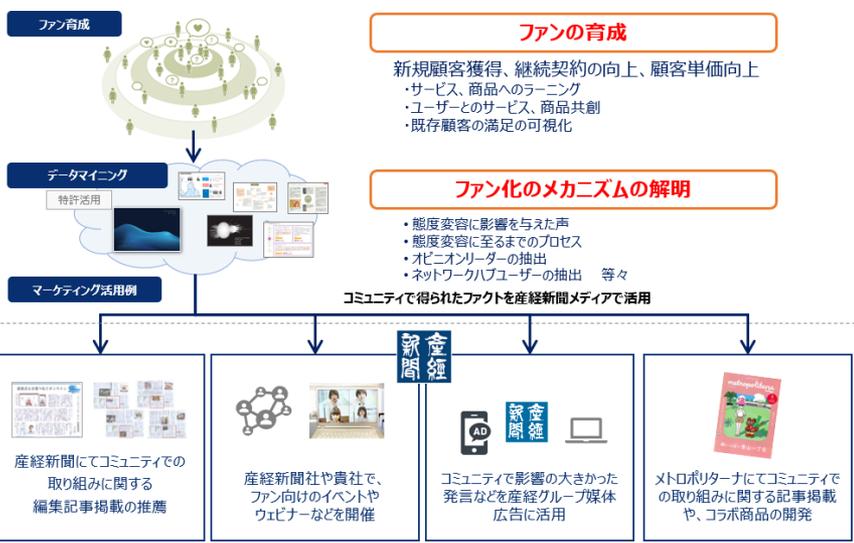
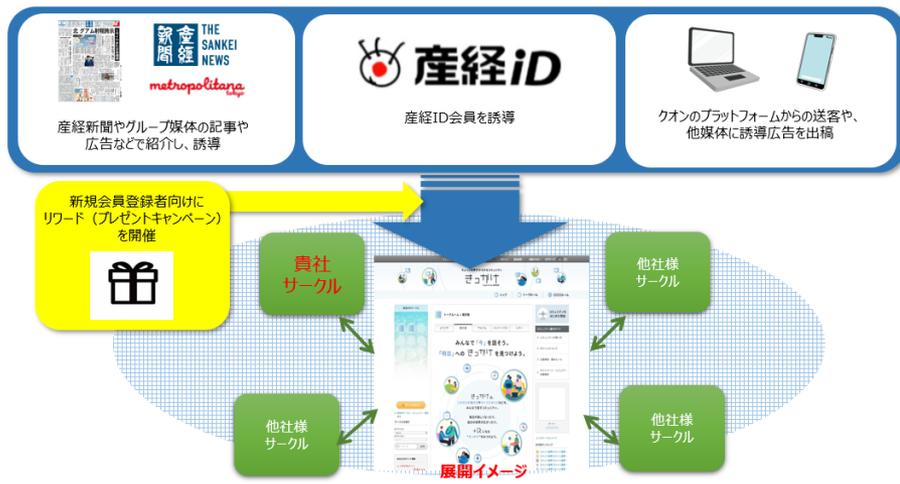
Supported by 産経新聞

### コミュニティご参画概要書

2020年9日



産経新聞やグループ媒体、産経ID会員などから誘導をはかるとともに、クオンの持つプラットフォームや他媒体への誘導広告出稿を通じてファンを招集します。また、オープン時などには新規会員登録者向けに、リワード（プレゼントキャンペーン）を実施し、ファンの拡大を目指します。



## 評価スキーム

By ken fujii

第1回企画委員会  
2020年8月12日  
藤井委員提出資料



拡散を通じた意識変容

今回の事業

- オンラインイベント
- e-learning & community
- 「ゆうゆう LIFE」

参加



共感  
Sympathize

確認  
Identify

参加  
Participate

共有・拡散  
Share & Spread



日本社会全体の長期アウトカム (KGI) 今回把握できない

#1 福祉・介護についての理解が促進

#2 ネガティブイメージの変容

#3 福祉・介護現場への参入意欲の高まり

意識・態度  
レベルの変容



行動レベルの  
変容

自身の意識・行動変容  
周囲の意識・行動変容

### ①ウェブ解析

アクセス集計

短期アウトプット把握

ユーザーアクセス情報

### ②アンケート調査

中期アウトカム把握

イベント等の直後の意識調査

6か月後の意識・行動の調査

## ①ウェブ解析

### アクセス集計

- ユーザーの各事業における閲覧状況を把握.
- 事業の短期アウトプットを評価する.

オンライン  
イベント

e-learning &  
community

「ゆうゆう  
LIFE」

ページビュー（アクセス）数・推移

セッション数・推移

ユーザー数・推移

平均滞在時間（平均視聴時間）

直帰率

ページごと離脱率

### ユーザーアクセス情報

- ユーザーの各事業における閲覧状況を把握.
- どのような閲覧行動が、態度・行動変容をもたらすかを分析し、事業の中期アウトカムを評価する.

オンライン  
イベント

e-learning &  
community

「ゆうゆう  
LIFE」

滞在時間・視聴時間

ページビュー数・セッション数

リピート間隔

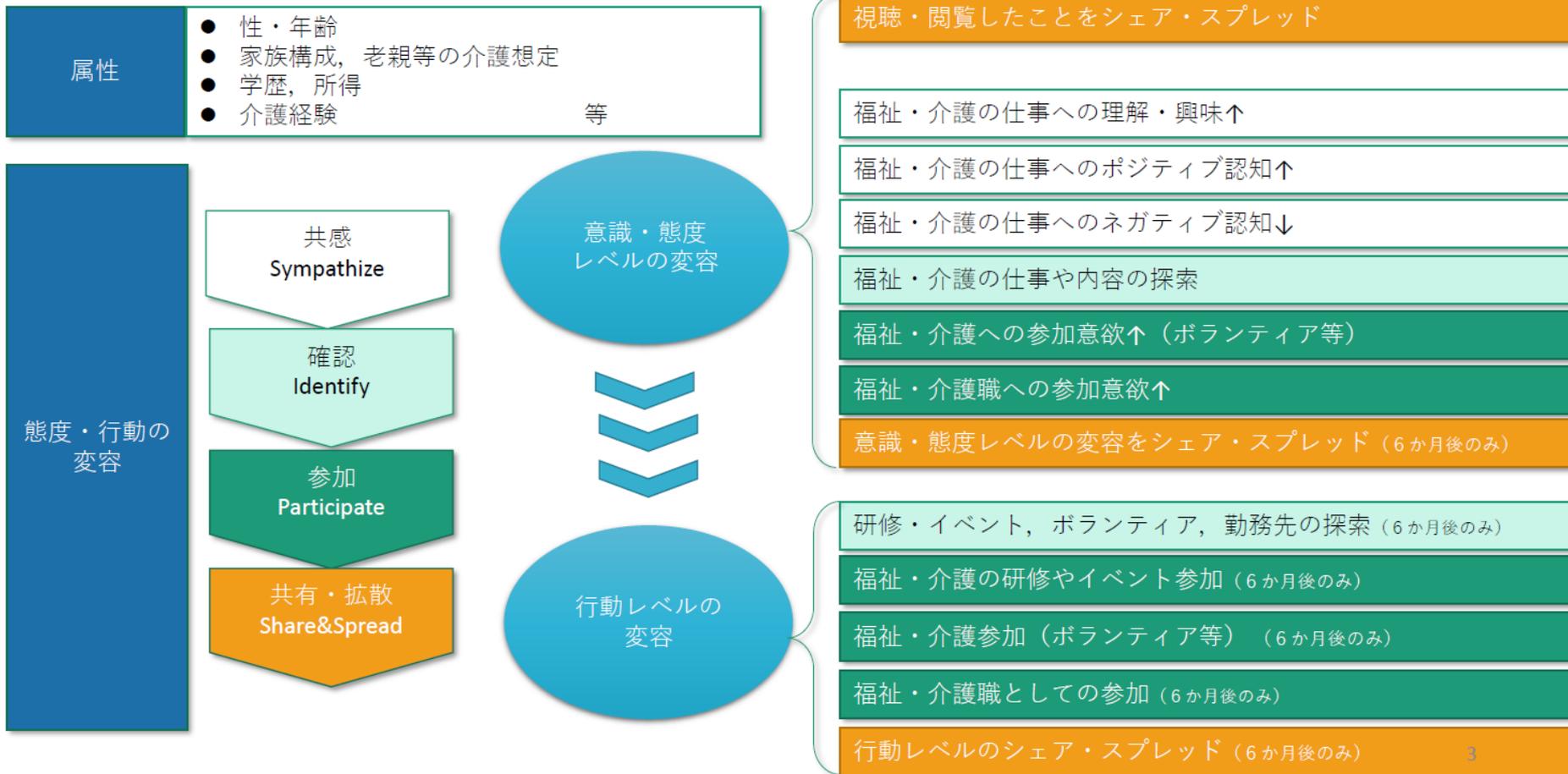
閲覧ページ

デバイス（トラフィック）・検索エンジン

態度・行動  
変容（アン  
ケート結果  
より）に与  
える影響を  
解析

## ②アンケート調査（視聴直後⇒6か月後）

- 3事業ごとに、参加者に対するアンケート調査をオンラインで実施（謝礼あり）
- 事業参加後と6か月後の各2回実施



## 企画委員会・有識者(あいうえお順、敬称略)

### ■井上由紀子

日本社会事業大学専門職大学院 教授

### ■植松巧之

一般社団法人全国介護付きホーム協会 事務局長

### ■高橋比佐子

未来をつくるkaigoカフェ つむぎすと

### ■藤井賢一郎

上智大学総合人間科学部社会福祉学科 教授

### ■松本均

横浜市健康福祉局担当理事 高齢健康福祉 部長



# スケジュール

## 「介護のしごと魅力発信等事業 子育てが終わった層」管理一覧

現在 令和2年9月7日

					主要事業	企画委員会	定例会議 (社内)	ゆうゆうLife&コンテンツ		イベント		入門的研修(動画)		宣伝・P R	効果測定	予算管理
月	日	曜日	日	曜日				取材	掲載・P R	リアル	オンライン	制作	認証			
					介護のしごと魅力発信等事業	3回予定	毎週水曜日	佐藤(好)	外部ライター他	戸谷	箱崎	赤崎	高橋			平野
7	1	木	5	日			KICK OFF									予算計画書
	6	月	12	日				コンテンツ企画立案								
	13	月	19	日						企画案作成	見積依頼					
	20	月	26	日		厚労省ヒアリング										
	27	月	2	日											委託業者の選定	
8	3	月	9	日												
	10	月	16	日	第1回企画委員会	12日						認証システムの見積依頼			委託事業者の確定	
	17	月	23	日												予算書の提出
	24	月	30	日											効果測定要件整理	予算執行
	31	月	6	日				事業所取材			企画会議					
9	7	月	13	日						企画書整備	パイロット版作成		告知計画			
	14	月	20	日					サイト掲載	芸能事務所提案		認証委託事業者選定	SNS記事投稿等開始			
	21	月	27	日					SNS対策	内容確定	撮影、取材					
	28	月	4	日					SEO対策	募集開始		システムカスタマイズ	P R開始			
10	5	月	11	日												
	12	月	18	日	第2回企画委員会	14日										
	19	月	25	日												
	26	月	1	日				イベント取材	紙面掲載		イベント開催予定				イベント効果測定	
11	2	月	8	日					サイト掲載	企画案作成						
	9	月	15	日										SNS記事投稿等		
	16	月	22	日											コミュニティの効果測定	
	23	月	29	日												
	30	月	6	日						実施の検討						
12	7	月	13	日								編集作業				
	14	月	20	日												
	21	月	27	日				イベント取材	紙面掲載		イベント開催予定		P R開始		イベント効果測定	
	28	月	3	日					サイト掲載							
1	4	月	10	日												
	11	月	17	日												
	18	月	24	日												
	25	月	31	日												
2	1	月	7	日	第3回企画委員会(予定)											
	8	月	14	日												
	15	月	21	日												
	22	月	28	日												
3	1	月	7	日												
	8	月	14	日												
	15	月	21	日												
	22	月	28	日												
	29	月	31	水												報告書まとめ 経費精算最終

